

(六) 第二安定期・教育内容充実期（平成 18 年 4 月～現在）

期限付入学定員の削減期を終え、平成 19 年度からは収容定員も入学定員の 4 倍になる時期に入った。（平成 18 年度は、電子情報工学科の収容定員が+10 名、情報システム工学科の収容定員が-20 名）。

表 5. 第 2 安定期における学園の構成

<b>福岡工業大学</b>	
<b>【工学部】</b>	入学定員
電子情報工学科	80 人
生命環境科学科	80 人
知能機械工学科	100 人
電気工学科	80 人
計	340 人
<b>【情報工学部】</b>	入学定員
情報工学科	120 人
情報通信工学科	80 人
情報システム工学科	80 人
システムマネジメント学科	60 人
計	340 人
<b>【社会環境学部】</b>	入学定員
社会環境学科（別途編入定員 30 人）	150 人
計	150 人
小計	830 人
<b>福岡工業大学大学院</b>	
<b>【工学研究科修士課程】</b>	入学定員
電子情報工学専攻	8 人
機能材料工学専攻	8 人
知能機械工学専攻	8 人
電気工学専攻	8 人
情報工学専攻	10 人
情報通信工学専攻	8 人
管理工学専攻	8 人
計	58 人
<b>【工学研究科博士後期課程】</b>	入学定員
物質生産システム工学専攻	2 人
知能情報システム工学専攻	2 人
計	4 人
<b>【社会環境学研究科修士課程】</b>	入学定員
社会環境学専攻	6 人
計	6 人
小計	68 人
合計	898 人

<b>福岡工業大学短期大学部</b>	入学定員
情報メディア学科	105 人
ビジネス情報学科	55 人
合計	160 人
<b>福岡工業大学附属城東高等学校</b>	入学定員
普通科	350 人
工業科	200 人
合計	550 人
総計	1,608 人

この間、以下の組織変更が行われたが、いずれも大学院の教育内容の充実と高度化を目指したものであった。すなわち、平成 18 年 4 月に電子工学専攻を電子情報工学専攻へ、平成 19 年 4 月に大学院社会環境学研究科の修士課程社会環境学専攻を設置し、さらに平成 21 年 4 月には大学院機能材料工学専攻を生命環境科学専攻に変更予定である。